

これも文明病のひとつ？ 現代人を悩ます水虫

健康エクспレス No. 72

日本では明治以降、靴が普及しはじめ、さらに第二次世界大戦後、生活の必需品となりました。しかし、それに伴い、多くの人がかかるようになった病気が水虫です。今回は水虫についてご紹介します。

現代人の病 水虫

(1) 水虫とは

多くの人が水虫により足のかゆみに悩まされています。水虫は真菌類(カビの仲間)に属する白癬(はくせん)菌が皮膚組織に住み着いて発生する感染症です。水虫の症状を分類すると右表のようになります。①と②は皮膚の浅い部分で白癬菌が繁殖するため治療のしやすい水虫ですが、③は皮膚の深い部分で白癬菌が増殖するため、比較的治りにくい水虫です。また、白癬菌は足だけではなく手や頭部などの部分でも繁殖し、皮膚が赤くなったり、かゆみなどの症状が出ることもあります。

| | |
|-----------|---|
| ①趾間(しかん)型 | 足の指の間の皮膚が白くふやけた状態になる場合と赤い湿疹ができて皮膚がかさかさする場合があります。かゆみが強い。 |
| ②小水疱型 | 足のかかとや土踏まず、側面に小さな水疱がいくつも生じる。かゆみが強い。 |
| ③角質増殖型 | 足の裏の皮膚が厚く、固くなり、ひび割れが生じる。次第に皮膚が鱗のようになりはがれ落ちる。初期にはかゆみがあるが進行するとかゆみがなくなる。 |

(2) どのように水虫にかかるのか

水虫の感染が多く起こる場所は家庭内です。家族に水虫の人がいる場合、その人の足からはがれ落ちた皮膚片から他の家族の足に白癬菌が付着、繁殖してその人も水虫になるという過程をたどります。家庭以外では温泉や銭湯、スポーツクラブやプールなど、裸足のままで過ごす時間が多い場所で感染する可能性があります。ただし、白癬菌が付着しただけですぐに水虫の症状が生じるわけではなく、繁殖するだけの時間と環境が必要です。現在では働いている人はほぼ半日以上靴を履いたままであり、そのような靴の中は温度・湿度共に白癬菌にとって繁殖しやすい格好の環境です。その環境が水虫を発症させます。以前は男性の病気とされていました。しかし、現在では水虫になる女性も多くなりました。女性の多くが履くブーツは換気が少なく高温多湿になりやすい靴です。また、女性の勤務時間も全般的に長くなったため、女性の靴内でも白癬菌が繁殖しやすい環境となっています。現在では水虫になる女性も多くなりました。寒い季節でも水虫は油断がなりません。

(3) 足の爪にも水虫が

爪水虫になると、爪が白く濁ったり、白い筋が現れます。さらに進行すると、爪が黄色に変色して、爪が壊れやすくなっていきます。この段階まで治療せずにいると、歩くときに痛みが生じることがあります。さらに爪水虫から白癬菌が足全体へ広がって新たに足の水虫を生じさせたり、すでに生じている水虫を長引かせる場合もあります。

有効な治療薬が多くなる でも予防第一

(1) きちんと診察してもらうことが治す近道

白癬菌による水虫以外にも、菌が感染して水虫と同様の症状が現れる皮膚病があります。したがって、水虫と思われる症状の場合は皮膚科の医師に診察してもらい、原因となる菌の種類を調べ、特定された菌や症状に応じた治療を受ける必要があります。

水虫の治療には、皮膚に直接塗布する外用薬と内服薬が使用されます。最近の外用薬は浸透性がよくなり、治療の効果が上がりました。内服薬は、外用薬が効きにくい角質増殖型水虫や爪水虫の場合に使用されます。

(2) 水虫にかからないために

上記のとおり、家族内で水虫が感染する可能性が高いため、家族の中で水虫にかかっている人がいる場合はすみやかに治療を勧めましょう。普段から水虫を予防するために、入浴時は足の指の間や爪の周りをよく洗い、風呂上がりにはよく乾いたタオルで足の指周りを丁寧に拭いてください。銭湯や温泉での感染予防のために、利用後には足をよく拭いてから靴下や靴を履きましょう。足を傷つけるとそこから白癬菌が入りやすくなりますので、靴を選ぶ際には自分の足に合っているかどうかをしっかりと見極め、靴ずれが生じないように注意しましょう。また、靴は1日履いた後、よく乾燥させておくことが水虫予防に効果的です。



《皆様の安心と安全のプレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 TEL:03-3582-4511